

Ecola

イ・コ・ラ

No. 29

発行 2019年6月16日

こんにちは！皆さんお変わりございませんか？半年ぶりのイコラです。

その間に元号が、平成から令和に変わり、平成を振り返るテレビ番組もたくさん放送されました。「この頃、こんなだったなあー」なんて思い出された方も多かったのではないのでしょうか。

また、平成の初めの頃には知名度の低かった“自閉症”という障害も、発達障害という名称と共に随分多くの人に知られる様になりました。福祉制度においても、措置制度から受給者証を使っの契約という形に変わり、利用できるサービスも増えてきましたね。

令和の世も、もっともっと自閉症の子ども達が過ごしやすく、生きやすい世の中になることを期待したいですね。

それでは、令和最初のイコラで平成最後の行事をご覧ください！！



和歌山県・和歌山市との対話集会

「和歌山県との対話集会」が平成30年10月23日（火）和歌山県庁北別館2階大会議室にて行われました。

参加者は10名（うち和歌山市分会8名）でした。



「和歌山市との対話集会」は平成30年11月16日（金）和歌山市中保健センター3階大ホールにて行われました。参加者は16名でした。

神戸方面バスツアー

平成 30 年 10 月 14 日（日）

参加者 26 名（11 家族）

2 年ぶりのバスツアー、今回も最少催行人数の 30 名に申し込みが足りませんでした。中型バスに変更して催行することになりました。

和歌山駅の東口に集合して、定刻の 8 時に出発。途中、サービスエ

リアでトイレ休憩をとって、『神戸どうぶつ王国』の開園時間の 10 時前に到着し、バスの中でワクワクしながら開園を待ちました。

団体専用の入口から、みんな揃って入ると、『ロッキーバレー』のエリアで、ガラス越しのオオカミやアメリカクロク

マの大迫力の歓迎に圧倒されました。中に進んで行くと、カンガルー、ゾウガメ、ナマケモノ、カピバラなど可愛い動物との距離が近く、触れ合える動物も多かったです。

また、『バードパフォーマンスショー』では、フクロウやハヤブサ、ハゲワシなどが観客の近くを飛び、迫力満点で見応えがありました。バイバイをするインコもとっても可愛かったです。

お昼ごはんはバイキングや、ハンバーガーやうどん類の軽食など皆さんそれぞれに楽しまれていました。「もう少し、動物と触れ合いたい！」と思いながら、次の『神戸フルーツフラワーパーク』へ 40 分程バスに乗って移動。

道の駅としてリニューアルされた『神戸フルーツフラワーパーク』、ログハウス風のオシャレなファームサーカスでは、カフェや足湯があったり、

神戸のパン・ワイン・お菓子・食材などのお店がありました。六甲山牧場のソフトクリームを食べている人が多かったです。

奥のヨーロッパ風の建物は、ホテルで日帰り入浴（有馬温泉と同じ、金泉）ができるので、入った人もいました。小さい遊園地や広い庭園があり、皆さんそれぞれ自由に楽しまれていました。お昼ごはんの時間なら、神戸ビーフの BBQ もいいですね。

いろいろなお土産を買って、バスに戻り帰路につきました。お天気もよく、楽しい一日になりました。





「みんなと行った、バスツアー」

山下 さん

私はしょうがいがある方といっしょにバスツアーに行ったのは初めてでドキドキしていただけ、すこく楽しかったのです。
 プラスやさしい人がいっぱいいて、しょうがいのある方には、どうた
 いしていいかが分かってうれしかったです。
 動物園は、みたこともない動物、みたことはあるけどまちかみで
 ことのなかった動物でいっぱいです。すこく楽しかったのです。
 一番かわいかったのは…決められませーん！だってせんぶだのし
 かったんですもの。でも、きもちよくてちよつとこしょはかったのは、
 ドクターフィッシュでした。私はドクターフィッシュが大好きです。
 そして「フルーツフラワーパーク」は、ゆうえんちがいろいろすこく
 たのしかったです。とくにたのしかったのは、空飛ぶ車とジェットコ
 ースターと、あひるのスカイウォークです。
 そして、ソフトクリームはすこくおいしくて、プラスのうごいで
 まだまだ食べれるかんじでした。そして、トーストフルーツのポシエ
 ットを買いました。すこくかわいくてうれしかったです。ソフトク
 リームもすこくうれしかったです。
 また次もバスツアー行きたいです。よろしくおねがいします。

参加した山下くんのお姉ちゃんの感想です

母親クッキング

中央コミュニティセンター 調理室

- 第1回 平成30年5月9日(水) 参加者…16名
 〈メニュー〉 炊き込みご飯、天ぷら、にゅうめん、よもぎ餅、ケーキ、甘夏
- 第2回 平成30年9月5日(水) 参加者…16名
 〈メニュー〉 ちらし寿司、かぼちゃとなすの煮物、えび・野菜天ぷら、にゅうめん、ケーキ、
 梨、栗ご飯(お土産)
- 第3回 平成30年10月10日(水) 参加者…15名
 〈メニュー〉 炊き込みご飯、へしかつ、おから、野菜サラダ、
 玉子スープ、ケーキ、柿
- 第4回 平成31年2月20日(水) 参加者…18名
 〈メニュー〉 鶏肉の甘酢がけ、きんぴらごぼう、大根サラダ、
 お雑煮、十六穀米、パウンドケーキ、コーヒー



恒例の母親クッキングは、ベテランお母さん方が毎回色々なお料理をお話ししながら作って、食べながら話して…と、皆さんの癒しの場・お楽しみになっているようです。

第2回の9月5日は、台風21号が上陸した翌日にもかかわらず、参加者が減っていないのも、逆に「こんな時だからこそ、みんなの顔を見て話したい!!」と集まれたのでしょね。

人権フェスタ

平成 30 年 11 月 24 日 (土)
和歌山ビッグホエール

今回も例年どおり、ブース展示で参加しました。

いつもより展示スペースが狭かったのですが、子供達の絵画作品の展示、書籍の販売、啓発パンフレットの配布、支援グッズ（ポラリスでお借りした）の展示を行いました。また、発達相談会も行いました。



いつもはなかなか受け取ってもらえない啓発パンフレットですが、クリアファイルに入れて配布すると、あっという間に無くなってしまいました。

ブース当番の合間に、ステージで行われる知り合いの和太鼓演奏や支援学校のよさこい、猿まわしなども順番に見に行ったり、外の模擬店にお昼ごはんを買いに行ったりもしました。今回、外のフリマで新品のトートバックを 100 円で買って来た

人がいて、ブースに戻ってみんなに見せると、そこに居た 4 人も買いに走って行きました。そんなふうなお楽しみも沢山あります。次回は、参加してみませんか？

ブース当番をして下さった方々、ありがとうございました！



奥野雅海くんの絵が表彰されました



就学期お母さんの交流会

平成 30 年 11 月 8 日 (木) 参加者 10 名 (うち一般 4 名)

12 月 6 日 (木) 参加者 4 名 (会員限定)

平成 31 年 3 月 13 日 (水) 参加者 9 名 (うち一般 4 名)

学期に一回、会員外の方も参加できる交流会を開催しています。ペアレント・メンター協会のグループ相談会に参加されたことのあるお母さんが来られることが増え、少しずつ入会に繋がってきています。

幼稚園児や小学生のお母さん達は、色々な進路の情報を知りたいと思って来られているので、「今特に悩みがない」という会員さんでも、子どもさんが小さい頃の体験談などをぜひ話しに来てもらえたらうれしいです。

会員限定の会は、「先輩お母さんから『就労』のお話を聞く会」を予定していたのですが、支援学校のマラソン大会と日程が重なり人数が集まらず、急きょ 4 人だけの茶話会になりました。また、次年度中に開催出来れば…と思っています。

Myコミュニケーションカード



「Myコミュニケーションカード (My コミ)」
持っていますか？

「My コミ」は、自閉症・知的障害者・聴覚障害者・精神障害者等で自分の意思を伝えるのが難しい人が、イラストを指すことで相手とコミュニケーションをとるためのカードです。

その My コミのカスタマイズ用のイラストカタログが完成しました！初期設定分に加えて約 300 種類のイラストが掲載されていて、右の3つの方法でイラストカードを手に入れることができます。カタログから必要なイラストを選んで、ぜひカードを入手して、活用して下さいね。

また、イラストカタログは、〈気持ち〉や〈見たい・使いたいもの〉など 22 のカテゴリー別にまとめられているので、その中から選んで指さすことで「今の気持ち」や「何をしたいか」などを伝えることもできる“優れもの”になっていますよ。

詳しくは和歌山市障害者支援課まで。

【イラストカードの入手方法】

次のいずれかの方法でカードを入手することができます

A. 窓口で入手

①障害者支援課又は保健所健康窓口で希望イラストを申請する

②イラストカードが交付される

B. 郵送にて入手

①和歌山市ホームページのトップ画面右側にある出版ページ番号検索欄に「1014721」と入力し、「表示」をクリック

②My コミのページ下部にある「イラストカード申請書」をクリックし、印刷して必要事項を記入の上、障害者支援課まで送付する

※返信用切手 (82 円) を同封してください

③後日イラストカードが郵送される

C. 和歌山市ホームページで入手

①B. 郵送にて入手①の方法でMy コミのホームページへ

②My コミのページ中央にある「カード一覧」をクリック

③各カテゴリーのページから好きなイラストを選択し、印刷する

※印刷するときは、印刷ボタンを押してページサイズを「実際のサイズ」に設定してください
イラストに合わせて切り取ると、カードケースに入れることができます

（問合せ）和歌山市福祉課 社会福祉部 障害者支援課
住所：〒640-8511 和歌山市七輪丁2-3番地
Tel：073-435-1060
Fax：073-431-2440

イラスト：こまご (外塚信夫)

和歌山城ブルーライトアップイベント

平成 31 年 4 月 2 日(火)「世界自閉症啓発デー」に、4 回目となる和歌山城ブルーライトアップイベントが開催されました。



和歌山市役所玄関前の出発式の後、和歌山城公園に移動して、和歌山市障害者支援課の方々と自閉症啓発チラシ入の世界自閉症啓発デー記念ファイルを配りました。



寒い平日の夜ということで「配り切れるか?」と心配して

いましたが、今年はちょうど桜が満開だったのと、砂の丸広場で『全肉祭 2019』という肉フェスが開催されていた事もあり、人も多くて今までで一番早く配り終わりました。

前回から開放していただいている市役所 14 階には、家族連れやカップルなど様々な方が来られ、正面に見えるブルーにライトアップされた和歌山城の写真を撮影したり、自閉症児者の絵画作品を見たりされていました。和歌山城公園で配ったチラシを見て、来てくれた方もいました。

今回初めてチラシの配布などで参加してくれた、2 家族の方が感想を寄せてくれました。

今回、和歌山城のブルーライトアップを初めて見に行きました。とても綺麗でした。当日お花見に来ていた人の中には、ブルーライトアップのことを知らずに驚いていた方も多かったです。実は私も…。

「世界自閉症啓発デーに、各地のランドマークがブルーにライトアップされる」というのは何年前にも聞いたことがあったのですが、それが四月二日なのも、和歌山城がライトアップされるのも、つい最近まで知りませんでした。

地道な呼びかけ等のおかげで認知度が高まってきているようですが、もっともっと広まって欲しいと思います。

(津田弓子(チー君の妹))

少し寒く、雨もパラつき、お花見客はいっぱいとはいえない中、「自閉症協会です」…「?」「ブルーライトアップ」…「!!」で皆さん快くパンフレットを受け取ってくれました。

市役所 14 階からはよく見えました。市障害者支援課の皆さんの協力を知って驚きました。ポォ〜と生きているので「チコちゃん」に叱られそうです。協会役員の方々が 9 時まで毎年ホントにありがとうございます!!

(チーママ(チー君のママの略))



セサミストリートの自閉症のキャラクター、ジュリアちゃんです

お兄ちゃんのためになるのなら…と参加しました。自閉症のことが、もっとみんなにわかってもらえるといいなと思っています。

ピラは、笑顔でもらってくれる人が沢山いました。友達に、ブルーライトアップされたお城の写真を LINE で送ると喜ばれ、活動に興味示してくれました。(当事者妹)

娘を誘って参加しました。娘は、母より実に頼もしく配って、ライトアップの時間なども説明しておりました。

沢山の方々の思いでライトアップされていることを知り、暖かい気持ちになりました。(当事者母)

岡先生のワンポイントアドバイス⑳

「多様な学びの場とは～通級・特別支援学級・特別支援学校のメリット・デメリット～」

紀伊コスモス支援学校 岡 潔

新年度、新学期がスタートしました。新しい教育環境で不安と期待の中、日々を過ごしている子どもたちや保護者の方々もたくさんおられるのではないかと思います。

今、特別支援教育においては、多様な学びの場を活用すること、学びの連続性を確保することなどインクルーシブ教育の推進とともに、一人一人の子どもの障害の状態や発達段階に応じた指導や支援を充実させて行くことが求められています。自閉症の子どもたちの教育環境としても、個々の実態に応じた教育環境として、「通常学級」、「通級」、「特別支援学級」、「特別支援学校」の4つがあります。

就学先の決定については、市町村の教育委員会が、教育支援委員会（就学指導委員会）の判定を基に、障害の状態や本人・保護者のニーズ、専門家の意見、学校・地域の状況など総合的な観点から行われます。多くの場合は、教育委員会の決定に応じて進学先が決定されるケースが多いのですが、家庭の事情等から必ずその通りにならないこともあります。学校に入学しても、子どもが納得できていない、学校環境が実態に合っていないといったことなどは絶対に避けたいことだと思います。

「通常学級」は集団が保障され、教科書を使った普通教育の授業が展開されますが、個々への支

	通級	特別支援学級	特別支援学校
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・通常学級での子どもとコミュニケーションをとる機会が比較的多い ・学習面で通常学級の授業が受けられる ・必要なフォローを個別に受けられる ・通常学級から離れる時間が気分転換になることもある 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の時間や昼休みなどは通常学級での子どもとのコミュニケーションなどの経験ができる ・自分のペースで、発達の程度に準じたカリキュラムで指導が受けられる ・学校と相談しながら通常学級との行き来ができるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の障害の程度に合わせたカリキュラムで、専門性をもった先生からきめ細かい指導が受けられる（少人数制） ・関係機関との連携が充実している ・高等部では職業教育（就労支援）が受けられる
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・在籍基準（診断の有無等）があいまい ・保護者の同意（障害受容）が必要になる ・全ての学校に通級指導教室や特別支援学級があるわけではない ・高校では通級制度はまだ整えられておらず、特別支援学級も設置されていない（2018年度から県内の数校の高校から通級指導が始まっている） ・学級数や受け入れ可能人数などに地域差が大きい ・通常学級との行き来が子どものストレスになることもある（通常学級の授業に出たり入ったりすること、距離の広がりを感じやすいなど） 		<ul style="list-style-type: none"> ・通常学級の子ども、同世代の子どもと触れあう機会が少ない ・居住地と距離が生じる ・転学・転校は可能だが手続きが必要 ・障害の程度（知的障害の有無等）によっては入学できない可能性がある ・特別支援学校高等部を卒業しても、通常の高卒資格は得られない（ただし大学入学資格を得ることはできる） ・地域差、学校差がある

援が少ないので、自閉症の特性からトラブルなく学校生活についていくことを考えるとかなり心配ですよね。さらにより支援が得られる学びの場が求められます。「通級」、「特別支援学級」、「特別支援学校」といった学びの場にも、教育システムの違いから、それぞれにメリット・デメリット

がありますので、表の内容を参考にしてください。

大切なことは、子どもが不安なく、のびのびと学校生活が送れるということです。そのためにも本人の意思を尊重し、見学したりいろいろな人と相談したりしながら最善の教育環境を考えていただければと思います。

ボウリング大会

平成 31 年 3 月 10 日 (日)

和歌山グランドボウル

参加者 24 名 (うちプレイヤー 14 名)



今年は 3 月に開催されました。

皆さん毎年楽しみにしていただけれているからか、集合時間の 10 時には全員が受付を済ませて、貸し靴を受け取り、ボールを選んで自分のレーンに座っていて、すぐに練習を始める事ができました。

前回ぐらいからか、レーンのファール線を踏んでしまう人も少なくなっているようです。また、ガター防止のガードのおかげで、スパムもよく出ていて、ハイタッチをする姿もちょくちょく見られま

した。

2 ゲームずつプレイしましたが、それぞれのペースも違うので、終了する時間がまちまちでした。全員終わる

まで待って、成績を発表し、順番に景品 (順位にかかわらず、みんな一緒の景品です) を受け取り、解散しました。

～順位表 (2 ゲーム合計)～

1 位	森岡大輔さん	215 点
2 位	藤原昌子さん	200 点
3 位	津田千大さん	199 点
4 位	野辺大輔さん	195 点
5 位	森岡祐喜さん	193 点



～編集後記～

ただいま編集局員募集中です!! 一緒にワイワイと紙面作りをしませんか?

編集スタッフ: 尾崎富久子・江川かがり・植野比呂美

《発行》イコラ編集局 (連絡先) 尾崎富久子
e-mail: fukuko2939@gmail.com

※ イコラは Web 版も出しています。ぜひカラーでもお楽しみ下さい。バックナンバーもご覧いただけます。和歌山県自閉症協会ホームページからどうぞ!!